

千葉知施連ニュース 第 18 号

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会 <http://c-tisiren.jp>

〒289-3186 匝瑳市川辺 6 1 6 6 発行日：令和元年 8 月 2 4 日

令和元年度千葉知施連総会報告

令和元年 6 月 16 日（日）午後 1 時から令和元年度千葉県知的障害者支援施設家族会連合会の総会が千葉県教育会館で開催されました。

当日 36 支部から 53 名が出席し、第 I 部総会で議長に吉田政男氏（佐原聖家族園）選出し、第 1 号議案①30 年度活動報告②30 年度会計決算報告・監査報告、第 2 号議案①令和元年度活動方針案②元年会計予算案が審議され、賛成多数ですべて承認されました。

令和元年度活動計画の主な内容は次のとおり。

①支部長会議・研修会を開催し、情報提供、意見交換及び研修を重ねて利用者の生活改善・向上に努める。

（支部長会議 11 月、研修セミナー 3 月に予定）

②各支部の役員不足や高齢化などによる組織の弱体化を踏まえ、支部長会議の中で組織の強化に取り組み、連合会全体の強化を図る。

③虐待防止に果たす家族会の役割を十分認識し、施設における虐待を発生させないための取組を進める。

④メーリングリスト、千葉知施連ニュース、全施連ニュース、HP を通じて各支部へ情報を迅速かつ正確に情報を伝え、共通認識を高める。

⑤全施連の事業活動を推進する。

- ・新しい形の支援施設のあり方に関する提言パート II
- ・行政への陳情と意見交換
- ・全施連の主な行事に参加・全施連組織の拡大・強化

⑥関東ブロック連絡協議会に参加し、各県の情報収集を行い、共通課題について討議し全施連本部に提案する。

⑦千葉県健康福祉部に知的障害者支援施設・グループホーム利用者が抱える問題や将来の不安などについて提起し、要望書を提出する。

また、県の専門部会委員として活動の場を広げる。なお、県と同様に千葉市などとの懇談会を進める。

⑧千葉県知的障害者福祉協会との連携を図り、国・県・市町村の障害福祉施策の動向などの情報収集に努め、懇談会を開催し要望を伝える。

また、障害福祉団体との友好を強め、共有する問題に積極的に取り組む。

報告事項として、6 月 13～14 日開催の全施連社員総会・理事会報告、全国大会宮城の開催案内などがありました。

総会終了後、第Ⅱ部来賓挨拶と講演に入り、来賓として千葉県健康福祉部障害福祉事業課長野澤邦彦氏、千葉市保健福祉部高齢障害部障害者自立支援課長鈴木清由氏、千葉県知的障害者福祉協会副会長の小林勉氏から挨拶をいただきました。

続いて講演に移り、「利用者さんが主人公になる暮らしを目指して」～強度行動障害のある方のGHを新設・運営を通じて～と題して、社会福祉法人菜の花会しもふさ学園施設長藤崎進氏及び理事長の小林勉氏から講演をしていただきました。

千葉県のモデル事業として強度行動障害者を中心としたグループホーム「まなむすめホーム」・「メゾンドコルザ」を立ち上げ、運営している現状についてお話いただきました。それぞれの障害特性に対応した運営、施設設備の工夫など、利用者さんが主人公になる暮らしを目指していることが感じられました。

令和元年度全施連社員総会・理事会報告

令和元年年6月13日～14日令和元年度全施連社員総会及び第1回理事会が開催されました。社員総会に先立ち理事会で①30年度事業報告②同会計決算報告・監査報告③役員改選④元年度事業計画案⑤同会計予算案が審議了承され、その後社員総会に議題として提出され、全議案可決承認された。

○30年度事業報告での障害福祉情勢報告と成果

浅田訴訟全面勝訴、障害福祉施設の人材不足、GHでの日中活動導入

- ・国等に「我が事・丸ごと」地域共生についての要望書を提出したこと。
- ・請願については、北海道が行ったこと。

○元年度事業計画

1) 24時間一貫した快適な支援施設の新設請願 2) 新しい形の支援施設のあり方に関する提言パートⅡ 3) 行政議会への陳情と意見交換 4) 介護保険優先の原則の撤廃 5) 支援区分の廃止 6) 組織の拡大と強化 7) ひとり一人の活動力強化の研修会 8) 全施連内部学習会 9) 友誼団体との連携強化 10) 財政基盤の確立

このほか「財政基盤の強化」を加える。

・8月末に刊行される「地域共生ホーム」(提言パートⅡ)を基に学習会を開催し、行政や関係団体に働きかけ障害の有無にかかわらず当たり前前の暮らしができるよう運動を展開する。



障害者支援施設紹介リレー

社会福祉法人佑啓会 障害者支援施設 ふる里学舎

所在地：市原市今富1110-1

利用者を支援し、ご家族を支える。

佑啓会では、安全で暮らしやすい生活環境の提供はもちろんのこと様々な体験を通して自己実現が図れるよう、一人ひとりに合わせた支援を行い、ご家族も安心できるよう各種のご相談に応じています。

事業内容

平成4年 法人認可 平成5年 「ふる里学舎」運営開始

○施設入所支援 ・ふる里学舎 ・和田浦 ・静風荘 ・蔵波 ・千倉
(定員300名) (80) (40) (80) (80) (20)

○グループホーム ・ふる里学舎グループホーム ・ふる里学舎本千葉
・グループホーム千歳

○日中活動支援 ・新樹館 ・工芸館 ・和田浦 ・松香園 ・千倉
・あすみが丘 ・アネッサディセンター(重心多機能型)

○就労支援 ・しぜん工房 ・きせつ館 ・五井 ・八千代(多機能型)
・高津(多機能型) ・小石川(多機能型) ・大塚(多機能型)
・本郷 ・木更津 ・蔵波ディセンター(多機能型)

○障害児支援 ・こども館 ・じどう館 ・アネッサディセンター ・市川市
・そよかぜキッズ ・五井ディセンター

○相談支援 ・ふる里学舎 ・静風荘 ・あすみが丘 ・和田浦
・千倉 ・大塚 ・小石川 ・本郷

○家族会活動

- ・地域のお祭り及びアピタ(木・金・土)等における作品展の販売のお手伝い
- ・環境整備 5月から11月の間月1回程度実施(市原・蔵波・和田浦)

※和田浦 令和元年6月17日に長年の林道皆倉線の環境整備の功績が認められ、公益社団法人千葉県緑化推進委員会より表彰状を授与

第15回「全施連全国大会 in みやぎ」

令和元年度全施連全国大会が10月7日（月）、8日（火）の2日間仙台市で開催されます。皆様の多数の参加をお願いします。

○会場 ホテルメルパルク仙台

○大会テーマ 福祉の後退を許さない! ～真の共生社会を目指そう～

1日目 行政説明 厚生労働省 障害福祉課

講演 北九州大学 小賀久教授 ・ 埼玉大学 宗澤忠雄准教授

交流会

2日目 全員参加型討論会

テーマ「知的障害のある人のこれからの住まいと暮らし」

・司会 全施連副理事長 南 守

・ファシリテーター 北九州大学 小賀久教授 ・ 埼玉大学 宗澤忠雄准教授

・家族会：全施連理事長 由岐透

千葉知施連会長 奥澤時宗



「編集後記」

相模原市の「津久井やまゆり園」の障害者殺傷事件から早いもので3年経ちました。容疑者の公判はいまだ開かれておらず、容疑者はいぜんとして障害に対する偏見を持ち続けているようです。

ほかにも凶悪な犯罪が散見されるなか、事件を風化させないため、あらためて事件について考える必要があると思います。